

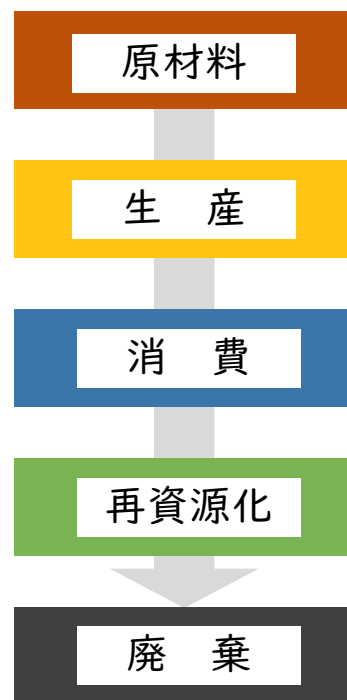
埼玉県のサーキュラーエコノミーの取組

令和8年7月28日

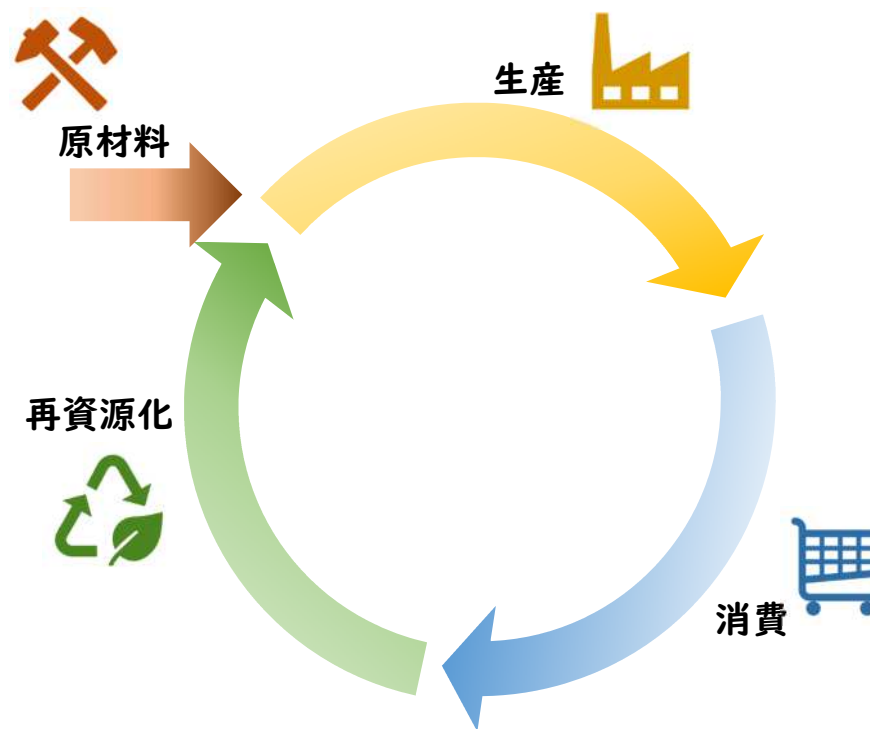
埼玉県 産業労働部 新産業育成課

1 サークュラーエコノミー（CE）とは

リニアエコノミー



サーキュラーエコノミー（循環経済）



サーキュラーエコノミー
(CE) = 生産活動や消費活動などのあらゆる段階で
資源の効率的・循環的な利用を図る経済活動

2 知事の推進力



大野元裕 埼玉県知事

将来的な資源不足やカーボンニュートラルの実現等へ対応すると同時に、環境分野での付加価値を増大させ、持続的経済を実現するため、（中略）資源の循環的・効率的利用を図る「**サーキュラーエコノミー**」への転換を推進する必要がある、（中略）

2期目では、企業が世界的な経済構造の変革にいち早く対応し、中長期的な競争力を確保するため、サーキュラーエコノミーを更に推進する必要がある。

「2期目のスタートに当たって(令和5年8月31日記者会見から)」

3 埼玉県のすがた

人 口	約 7 3 3 万人（全国 5 位）
県内総生産（名目）	約 2 3 . 7 兆円（全国 5 位）
県内企業等数	1 6 0 , 3 5 6 （全国 5 位）
県内民営事業所数	2 6 1 , 9 2 0 （全国 5 位）
産業別	
卸売業・小売業	2 2 . 5 %
建設業	1 1 . 1 %
製造業	1 0 . 3 %



↑ 埼玉県は近隣都県とのアクセスが容易

- CEの実現に向けて
- ✓ 多種・多様・多数の企業活動をCE型ビジネスモデルに転換
 - ✓ 人口が多い⇨廃棄物が多い → ポテンシャルがある

出典：令和7年総務省公表、令和3年度県民経済計算、令和3年経済センサス（県内民営事業所数は事業内容不詳を含む。）

4 産業団地/工業団地におけるサーキュラーエコノミー（CE）推進【R8新規事業】

目的

資源やエネルギーの効率的な利用や廃棄物の再資源化等のCEを推進するため、企業が集積する産業団地を中心とした取組事例の創出

内容

- ・ 県内の産業団地等の意向を踏まえながら、CEの取組を目指す **産業団地を中心としたグループを組成**
- ・ 組成したグループに対して取組の **伴走支援を行い事業化**を目指す

同一団地内のほか、産業団地企業×団地外（CE関心企業等）のグループも想定

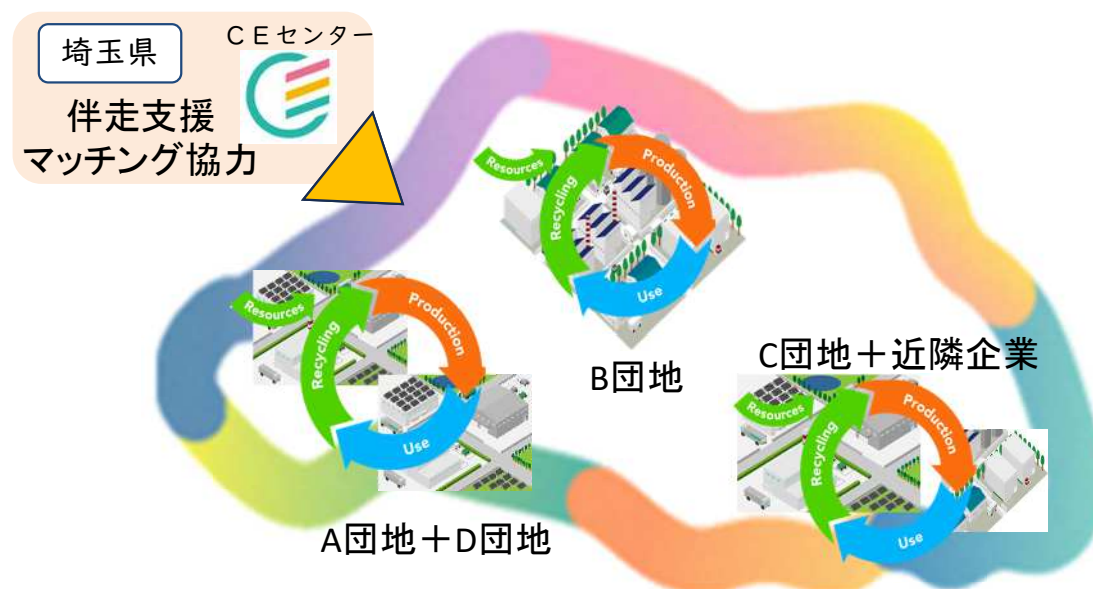
参加メリット

【企業】

- ✓ **新規事業・資源調達**の検討機会
- ✓ **物流・廃棄コスト**の見直し
- ✓ 団地内外の企業との **ネットワーキング**

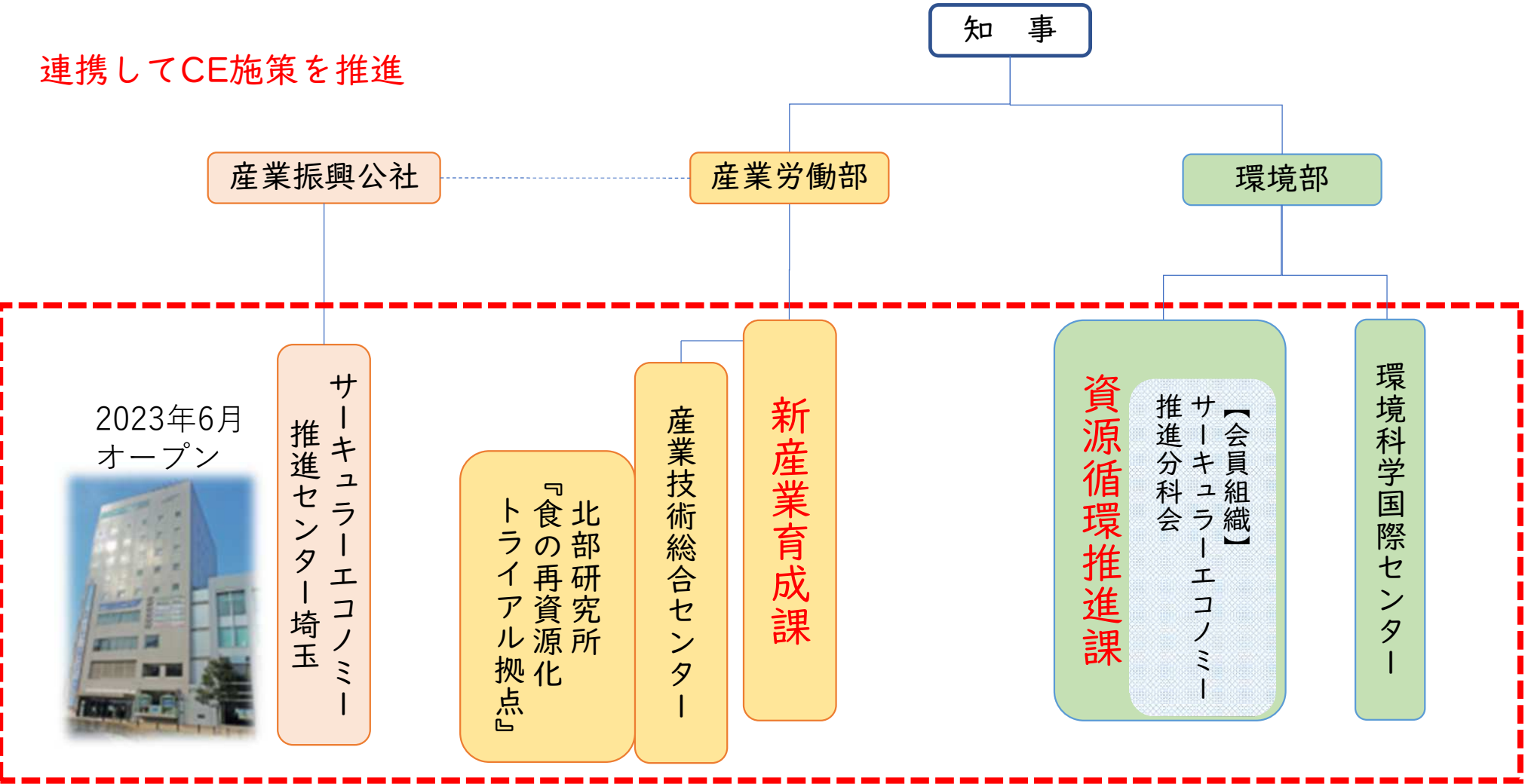
【産業団地/工業団地】

- ✓ 構成企業間の **連帯醸成**
- ✓ 先導的な取組による **内外へのPR**
- ✓ 地域社会・経済に対する **イメージアップ**



5 埼玉県庁のCE推進体制（「環境と経済の両立」）

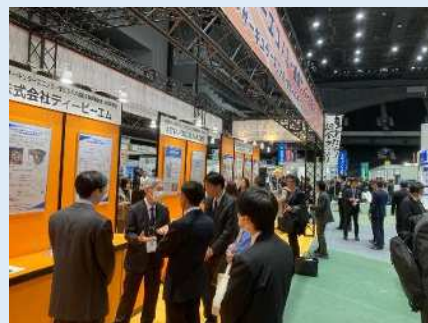
連携してCE施策を推進



6 埼玉県のCE施策

【企業向け】セミナー開催、彩の国ビジネスアリーナ出展など

1 情報発信・普及啓発



【県民向け】浦和レッズと連携したペットボトル分別回収等



©URAWA REDS

【CE推進センター埼玉】企業間のビジネスマッチング

2 マッチング支援等



- ✓ 専門のコーディネーター（7名）が対応
- ✓ これまでの実績（R5.6～R8.6）
相談対応 1,453件
マッチング 230件

【CE推進分科会】会員による連携事業



- ✓ 加盟 421者(R8.6末時点)
県内の廃棄物処理業などの企業・市町村等が参画
- ✓ 市町村との連携事業を実施

【サーキュラーエコノミースタートアップ
ビジネスプランコンテスト（CSUP）の開催】

3 リーディングモデル
の構築・展開



- ✓ 全国のスタートアップ企業等が対象
- ✓ テーマ
「埼玉県内で展開するCEに資する
ビジネスプラン」

【補助金による財政支援】3メニュー

- ✓ サーキュラーデザイン リーディングモデル構築支援
- ✓ 食のサーキュラーエコノミー技術導入支援
- ✓ 再資源化技術高度化支援

▶ 令和7年度は21件を採択

7 サークュラーエコノミー推進センター埼玉

開設

令和5年6月に埼玉県産業振興公社に開設

場所：さいたま市中央区（JR北与野駅前）

窓口：月～金曜日 9時～17時



県内経済団体や金融機関等のトップにご参加いただいた開所式の様子

機能

普及啓発・情報発信

普及啓発セミナー

彩の国ビジネスアリーナにおける
関連製品・技術の展示紹介

エコプロ、CE EXPO出展支援

相談対応・マッチング支援

コーディネーターによる相談対応

事業者連携のためのマッチング支援

販路拡大に向けた支援

リーディングモデルの構築

サーキュラーエコノミー
事業化支援補助金
(食品・衣料品・プラスチック・金属等のCE取組)

サーキュラーデザイン
転換支援補助金
(サーキュラーデザインの考え方に基づく製品転換)

SAITEC北部研究所と連携した
食品残さを活用した製品化支援

8 (1) 企業間マッチング事例①

事例 1	チョコレートブロック 	養豚用飼料・有機肥料 	菓子製造時に発生するチョコレートブロックを有効活用し、養豚用飼料や有機肥料を製造
事例 2	廃棄される酒粕 	蒸留酒(ジン) 	廃棄される酒粕を活用して焼酎をつくる酒造会社と、ジンを生産するベンチャー企業をマッチングし、酒粕焼酎を原酒とする蒸留酒(ジン)を新たに製造
事例 3	梱包材(ストレッチフィルム) 	ごみ袋 	梱包材(ストレッチフィルム)を排出する事業者に対し、廃プラスチックからごみ袋に再資源化する取組を紹介し、事業化

8 (1) 企業間マッチング事例②

事例 4	金属端材 	ゴルフ用品 	金属加工の過程で発生する鉄端材と塗装工事の過程で発生する廃塗料を組み合わせ、ゴルフマーカーを開発
事例 5	使用済の昇華転写紙 (アパレルプリント) 	RPF(固形燃料) 	アパレルプリント工場で排出される使用済の昇華転写紙からRPF(固形燃料)を製造し、転写紙の製造工場の燃料として活用
事例 6	未利用作業服 	インテリア(額縁等) 	事業所から排出される未利用の作業服を額縁やオブジェ等のインテリアへアップサイクル

9 CEに関するプラットフォーム「埼玉県SDGs官民連携プラットフォーム サーキュラーエコノミー推進分科会」

概要

- ✓ CEの推進に取り組む企業・市町村等で構成する会員組織
- ✓ 埼玉県SDGs官民連携プラットフォームの構成組織
- ✓ 令和3年6月に設立した「埼玉県プラスチック資源の持続可能な利用促進プラットフォーム」を発展的に拡大

支援内容

- ✓ 先進事例、国の最新動向・法規制等の情報共有
- ✓ 会員の交流の機会の提供や事業連携支援
- ✓ 実証実験等の実施

会費 無料

会員数

421者（企業324者、団体25団体、教育機関4校、地方公共団体68団体）
（令和8年6月末時点）



イベントの様子（令和8年7月21日）



ホームページ

10 R8年度 リーディングモデル構築に向けた補助金

所管課	補助金名（～補助金）	補助上限	補助率
新産業育成課	サーキュラーデザイン リーディング モデル構築支援	2,000万円	2/3
	食のサーキュラーエコノミー 技術導入支援	2,000万円	2/3 (小規模3/4)
資源循環推進課	再資源化技術高度化支援	2,000万円	2/3 (中小企業) 1/2 (大企業)

10（1） サークュラーデザインリーディングモデル構築支援補助金

目 的 県内企業が行うサーキュラーデザイン（資源の循環に配慮した設計）の考え方に基づく製品等の試作開発やビジネスモデルの構築等を支援

対象事業者 県内に事業所を有する企業等

対 象 事 業

- ・再生材やバイオ素材の活用、単一素材化、解体容易化など、自社の製品等の設計見直しのための試作開発
- ・新たにリファビッシュ、リペア、シェアリングなど資源を効率的に活用するビジネスモデルを構築するための経費

補助上限額 2,000万円 **補 助 率** 2／3以内

採択企業（令和7年度）

採択企業	補助事業テーマ
株式会社エフテック	EVリユースバッテリーを活用した蓄電システムの開発と二次利用システムの構築
セキネシール工業株式会社	製紙工程で発生する汚泥スラッジのアップサイクルによる新商品開発
東和ケミカル株式会社	循環利用可能な再生プラスチック容器の開発
マレリ株式会社	自動車用内装部品の単一素材化と再生材・植物由来素材への転換

10（2） 食のサーキュラーエコノミー技術導入支援補助金

- 目 的

食品廃棄物等を活用した新製品・素材の開発やアップサイクル、バイオマス発電などに取り組むための新たな設備やシステムの導入等を支援
- 対象事業者

県内に事業所を有する企業
- 対 象 事 業

「食のC E」に資する設備やシステムの導入等に要する経費
（下記について、補助金審査時に事業計画等で確認）
・コスト削減や新たな収益など、経済的メリットが生じること
・既存設備等の更新の場合は認めない など
- 補助上限額

2,000万円

補 助 率

2／3（小規模企業者の場合：3／4）

採択企業（令和7年度）

採択企業	補助事業テーマ
ASTRA FOOD PLAN株式会社	過熱蒸煎機による「ぐるりこ」生産受託事業の実装
株式会社協同商事	クラフトビール工場排水利用バイオガス発電の残渣を活用した循環型肥料提供技術導入
コーワプラス株式会社	農作物や食品の残渣を活用したバイオマス樹脂素材の開発及び製品化
タクマ電設	廃棄予定の地元産いちごのアップサイクル
株式会社ティービーエム	食関連施設が排出するブラウングリースの次世代燃料化技術の開発

II CEスタートアップビジネスプランコンテスト (CSUP)

Saitama **C**ircular economy **S**tart**UP** Business Plan Contest



概要

全国の**スタートアップ企業**（起業志望者や社内ベンチャー等も可）を対象とした
ビジネスプランコンテスト

テーマ

埼玉県内で展開するサーキュラーエコノミーのビジネスプラン

表彰

最優秀賞 **100**万円

優秀賞 **50**万円（2者）

特別賞 **30**万円

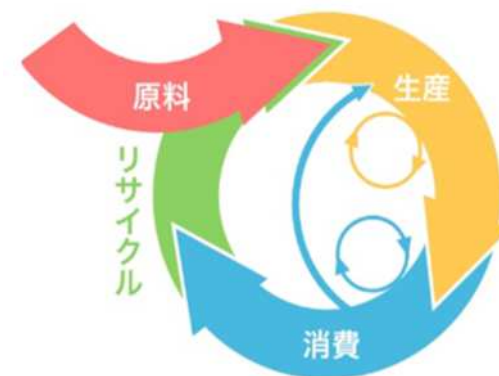
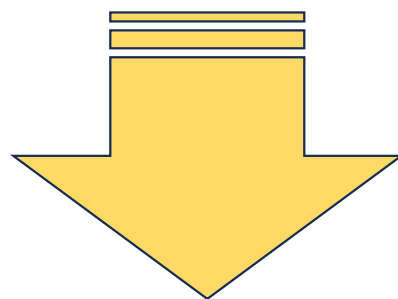
受賞者には事業展開を支援

II CEスタートアップビジネスプランコンテスト（CSUP）

過去の受賞者

第1回（R6）	テーマ	受賞者
最優秀賞	石膏ボード水平リサイクルによる循環型社会の実現	(株)GYXUS
優秀賞	排出事業者向け「使用済み紙おむつリサイクル」	サステナブルクリエイト(株)
優秀賞	埼玉県における木製パレットの利活用と農業用特化木炭の開発	(株)ジェイ・シー・ティー
特別賞	醤油粕燻製材から始まる埼玉発アップサイクル×マッキングサービス	Smoke-i-freet
第2回（R7）	テーマ	受賞者
最優秀賞	「エシカルリノベーションシティ埼玉」の実現 — 建築資材ロス削減と資源循環文化の創造 —	HUB&STOCK(株)
優秀賞	空き家を活用したアフォーダブル賃貸住宅事業	(株)ヤモリ
優秀賞	醤油粕アップサイクル燻製材 meets 彩香の燻醤 がっこいぶりの生 ふりかけ ~漬物ロスゼロ化を目指して~	Smoke-i-freet
特別賞	過熱蒸煎機を用いたかくれフードロスの削減及びアップサイクル フード市場の創出	ASTRA FOOD PLAN(株)

普及啓発・情報発信
相談対応・マッチング
リーディングモデルの構築・展開



埼玉県であれば、CEが実現できる
埼玉県であれば、CE製品が売れる